



で重要なデータの質，信頼性，利用可能性をより良くするための学際的学術協議会である。

目的は物理，化学，生物，地学，天文，材料，環境などの科学における実験の測定や観測から得られる，あらゆる型の定量的ならびに定性的データに関係している。特に異なる科学の分野に共通なデータ管理の問題や，データが生まれた分野以外の所で使用されるときデータの対して力点が置かれている。

一般的目的は次の通りである。

- (1) データの質と利用可能性，取得法，管理法，解析法の改善
- (2) データ収集，組織化，利用機関の国際協力
- (3) 科学技術の分野におけるデータ活動の普及促進

主要活動

- (1) 主要データの整備
- (2) 多国間プロジェクト調整
- (3) データベース利用のためのフォーマット標準化
- (4) 一次文献中のデータ表現の指針
- (5) 信頼性のあるデータ資源の情報提供
- (6) 教育，訓練
- (7) 会議，ワークショップの開催

Task group

- (1) 人工知能およびコンピュータグラフィックス
- (2) BIOLOGICAL MACROMOLECULES
- (3) 化学熱力学テーブル
- (4) CODATA REFERRAL データベース

- (5) CRITICALLY EVALUATED 相平衡データ
- (6) アジア・オセアニア地区データソース
- (7) FUNDAMENTAL CONSTANT
- (8) HYBRIDOMAデータバンク
- (9) GEOTHERMODYNAMIC データ
- (10) 材料データベースMANAGEMENT
- (11) 食品系統名数値情報データバンク
- (12) 微生物系統ネットワーク

Commission

- (1) 工学データ
- (2) 生物データベースのための統一用語
- (3) 国際地球環境-生物環境プログラム